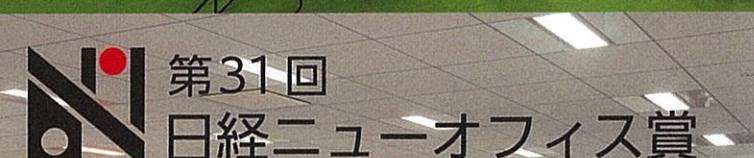


# THE BEST OF NEW OFFICES 2018

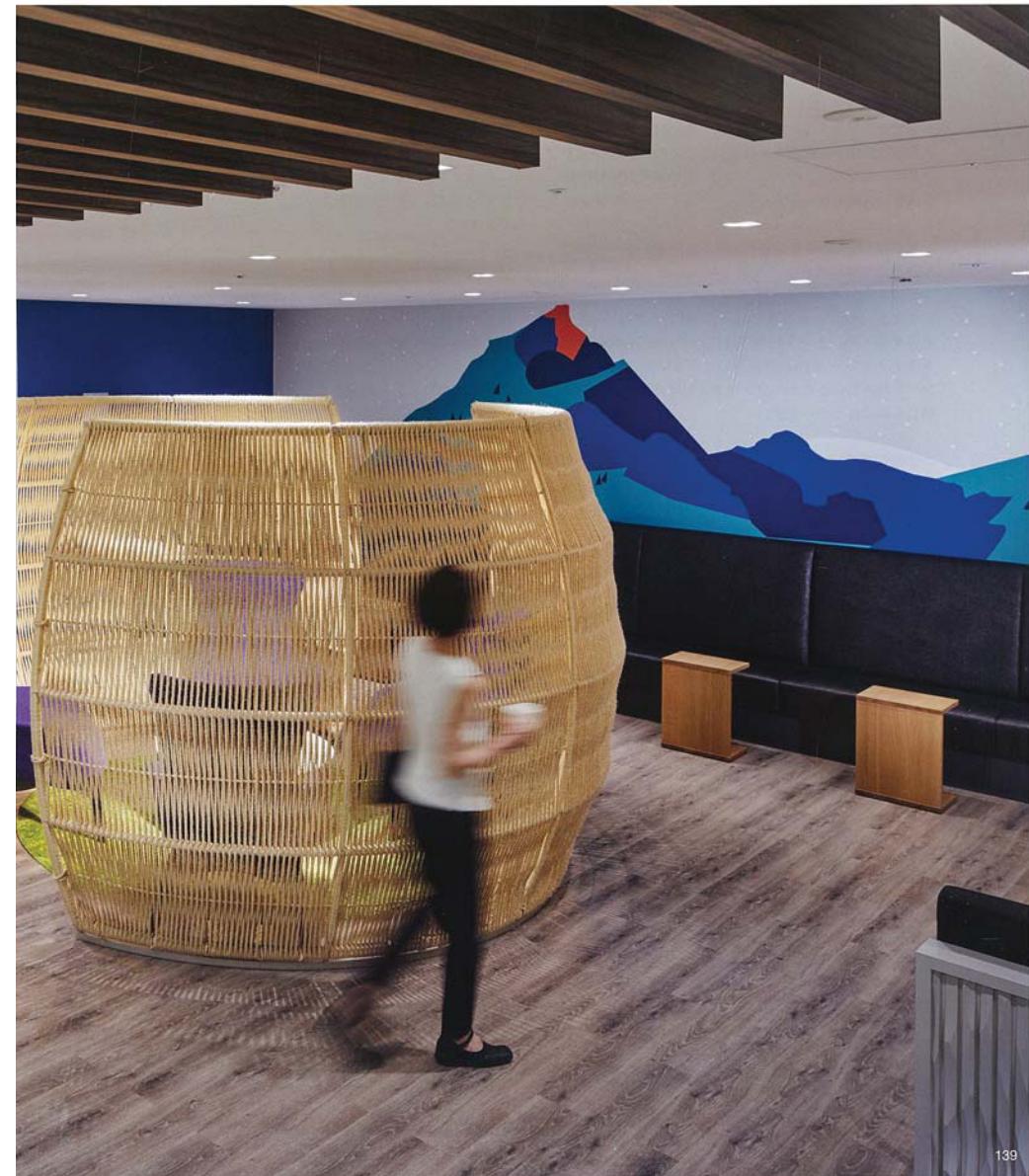


16

メッツライフ生命保険株式会社  
本社オフィス

所在地: 東京都千代田区紀尾井町1~3 東京ガーデンテラス紀尾井町紀尾井タワー  
使用開始日: 2017年4月

働き方を変え、モチベーションを向上させ、  
イノベーションな保険企業を目指す



## メットライフ生命保険株式会社 本社オフィス

### 7つの拠点を2つに

これまでメットライフのオフィスは、7つのビルにバラバラに分散し、1つの会社のカルチャーをうまくつくることができない状態で、各部門ごとの文化が色濃く残っていました。

革新的な商品やサービスを提供していくためには、こうしたチャレンジを乗り越えること、さらにイノベーションを起こすには、オフィスを改革し、よりコラボレーションタイプな環境にする必要がありました。また、良いオフィス環境は外部から優秀な人材を得るためのリクルーティングにも有効です。メットライフが、他の保険会社には見られない、商品、サービスが提供できるイノベーションカンパニーでありたいと考えました。

東京は2拠点にすることになり、メットライフ生命的本社がこの東京ガーデンテラス紀尾井タワーで、もう1つが錦糸町にあるオリナスタワーです。2つにわかっていますが、1つの本社と考え、「1つの屋根の下にある2カ所のオフィス」という位置づけにしています。錦糸町のオリナスタワーは15年が経過していますが、改装し、オフィスの内装は東京ガーデンテラス紀尾井タワーと全く同じものになっています。

### 3つの行動理念

イノベーションカンパニーであるために社員に求めるものは、「チャレンジ」、「エクスペリメント」、「コラボレー

ション」です。

社員がリスクを取り新たな方法を試す場合、安心してチャレンジできる環境があれば、イノベーションへつながりやすく、また、チームとコラボレーションをしながら仕事をすることも重要です。これらの要素が最大限にいかされるようなデザインをオフィスに落とし込んでいます。

「デジタルに、シンプルに」という要素も取り込み、アナログから脱却し、様々なことをデジタルでシンプルにしていくことで、「お客様中心主義」を徹底しています。

そのような目的をもつ、この環境に移ってまだ1年半ですが、実際に、社員の働き方が変わったことを多く目できます。

### オフィス変革と行動の変化

2カ所に分散していたオフィスは、各部門の配置や関係性が曖昧でした。統合にあたり、組織の近接度の調査をおこない、関係性から各部署のスペースを配置していました。加えて、その日の業務内容に応じた働きができる場所をたくさん用意しました。例えば、「コラボレーション」を進めるために、部門の境界につけた共有スペースは、「ネイバーフッド」といい、以前のオフィスが執務スペースと会議室がはっきりわかっていたのに対し、「ネイバーフッド」を置くことで、部門同志が互いに連携しあえるオフィス環境になりました。他に、予約なし



27F メインレセプション

で打ち合わせのできる「ハドルスペース」、「電話ブース」や「フォーカスルーム」、社員が交流するためのオープンな「クラブ」、アメニティゾーンも設け、多様なオフィスの機能としています。

テクノロジー面では、テレビ会議の活用率を促進しました。ここ3年でおこなわれたテレビ会議よりも、新しいオフィスの3週間分のテレビ会議の方がずっと多いほどです。ニューヨーク本社と結ぶ会議システムをはじめ、1対1のテレビ会議ができるスペースもあります。

館内のどこでもWi-Fiがつながっており、「クラブ」やカフェ等のコラボレーションスペースでも仕事ができるようになりました。

### デザインによる活性化

チームの共同作業やちょっとしたブレイクに適したスペースが「クラブ」です。ランチや休み時間にも使えて、よりフレンドリーな交流ができる場所です。社員が必ずここを通らないと執務スペースに入れない構造になっていて、1日が「クラブ」から始まり、「クラブ」で終わるかたちになっています。「クラブ」はアクティブで、ダイナミックで、美しいデザインになっています。

デザインについてもう1点挙げると、かつてのオフィスは役員席が窓際の大きなスペースを占めていましたが、新しいオフィスでは、役員は窓のない壁側のオフィスで社員と接して働いています。

### オフィスづくりのプロジェクトの進め方

オフィスづくりのプロジェクトは、初期のビジョンづくりから様々な段階で、社員からフィードバックをもらい、どのようなオフィスが我々にとって最適かを考えな

がら進めてきました。その上で、役員や経営陣による意思決定がおこなわれ、社員の意見と経営陣の判断とのバランスがうまくとれたと考えています。

プロジェクトの進行と共に、より多くの情報を社員に共有し、家具や椅子を選ぶ段階では実物を用意して、投票を実施しました。社員は自身のデスクスペースだけでなく、役員室のデザインや環境にも投票しています。プロジェクトの終盤では、社内のインターネットにプロジェクトのサイトを立ち上げ、トピックス、進行スケジュールも共有しました。社員が関与することで、社員は「自分も関わっている」という実感を共有したと思います。

日本のオフィスはメットライフのグローバルなデザインスタンダードをもっとも上手く体现していると評価されています。

会社で働く環境がよくなったことで、社員の多くの人がこの会社を友人や家族に勧めたいと感じているというデータが、新オフィスの成功を表していると考えています。



26F ミーティングルームとオープンラウンジ



27F メインレセプション



25F コーナーハドルエリア

## 経営視点

### 事業内容

外資系生命保険会社の第1号であり、日本で45年の歴史を有する。販売経路としては、約4,200名のコンサルタント社員、約6,800店の保険代理店、テレビや新聞広告等を媒介とする通信販売、116の銀行や信用金庫等を通じた金融機関による販売の4つに分かれている。

### 背景・歩み

1954年 日本支店開設(外国人向け営業開始)  
 1972年 日本人向け営業認可取得  
 2010年 米国メットライフがAIGからアリコの全株式の譲受について合意(3月)  
     親会社がMetLife, Inc.(メットライフ)に変更(11月)  
 2011年 ブランド名をメットライフ アリコ(MetLife Alico)に変更  
 2014年 会社名をメットライフ生命保険株式会社に、ブランド名をメットライフ生命に変更

### 経営指針



## オフィスコンセプト

### オフィスコンセプト

#### Bringing Our People Together

メットライフのグローバルな職場環境づくり戦略に基づき、7カ所に分かれたオフィスを東京の2カ所に集約。東京ガーデンテラス紀尾井町の新オフィスは、集約したうちの1つとなる。現在のビジネス環境や将来のニーズに機敏かつ柔軟に適応することが可能なオフィス環境を提供できるようデザインされている。

### 3つの主要エリア

#### ザ・スクエア (The Square)

ザ・スクエアは、建物の中すべてのユーザーが会える場所。ボードルームやテレビプレゼンスルームを備えたカンファレンスセンター、カフェ、テックライフおよびゲームルームから構成。スタッフ、ビジター(MetLife グローバルや取引先のお客様)、スタッフの家族も利用可能。ザ・スクエアでメットライフカルチャーが表現されることは、会社の最大の資産である「そこで働く人々」を尊重する大切なブランドメッセージとなる。

#### ザ・クラブ (The Club)

ザ・クラブは、各フロアに設けられたスタッフとビジターが会えるもうひとつの場所。日々の業務を支えるだけでなく、チームの共同作業やちょっとした同僚とのコーヒーブレイクに適した新しい形のワークスペースを提供している。スタッフ全員が自由に利用できる共有スペースでもあり、各自のタスクに最適な現場、その日の気分に適した多様な空間を演出する。

#### ザ・ネイバーフッド (The Neighborhood)

ザ・ネイバーフッドは、チームが日々の業務をおこなうためのサポートや基本ツールを共有できる場所。様々なワークシーンに加え、印刷、ファイリング、会議、書類保管などのスペースがある。最も重要なことは、ワークステーションであれ個室であれ、それが各スタッフ専用のスペースとなること。スタッフの健康をサポートするサスティナブルな環境として、どのようなスタイルでタスクを遂行するか自分で選択、調整ができる。

#### SQUARE

##### 1 CONNECTION FRONT DOOR EXPERIENCE

##### 2 ACTIVATION MULTI-LEVEL, MULTI-VOLUME, MULTI-USE

##### 3 INSPIRATION FUN, GAMES, & AMENITIES

#### CLUB

##### 1 RELAX REST, RESPITE, FOCUS, LOUNGE, DAILY SUSTENANCE, COMFORTABLE, GREEN

##### 2 REFRESH HEALTH, ACTIVE, LEARNING, LOCALLY SOURCED FOOD, WALKSTATIONS, FUN

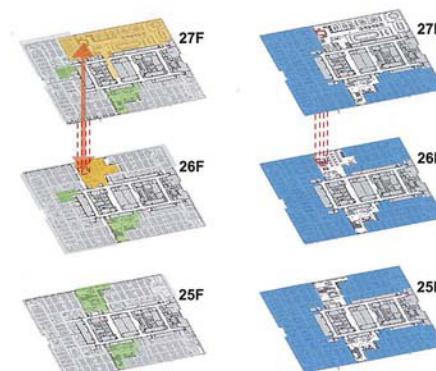
##### 3 RECHARGE TECHNOLOGY, COLLABORATION, SOCIAL MEDIA, CHARGING STATIONS, GAMING

#### NEIGHBORHOOD

##### 1 HOME BASE PROVIDE A HOME BASE FOR THE INDIVIDUAL

##### 2 COMMUNITY ESTABLISH A COMMUNITY FOR THE TEAM

##### 3 SUPPORT DISTRIBUTE SUPPORT TO COMPLETE THE TASK



メットライフ生命保険株式会社 本社オフィス



25F シアーステップエリア



25F ブース @黒子クラブ



25F 圆炉裏クラブ



25F コーナーコラボレーションラウンジ



26F カフェ



テックライフエリア。スタッフが常駐しサポートを受けることができる。

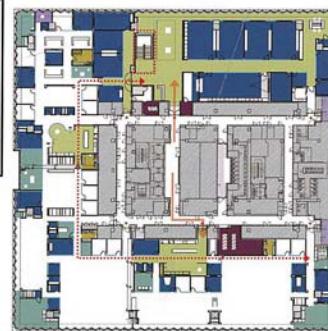


26F ゲームルーム。背景の壁には漫画のグラフィックが描かれている。

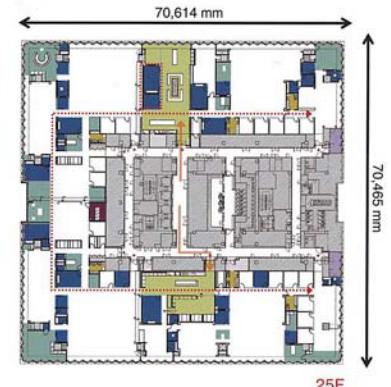


27F ウェイティングルーム

- 執務空間  
（ユニバーサル  
プランニング）
- 会議室
- コラボレーション
- スクエアラブ
- ウエルネス
- IT
- ユーティリティ
- 倉庫



27F



26F

25F

オフィスの企画 社内 コーポレートサービス部門	オフィスの企画 社外 (株)GARDE	建物の企画 社内	建物の企画 社外
オフィスの設計 社内 同上	オフィスの設計 社外 (株)GARDE (株)日建設計	建物の設計 社内 —	建物の設計 社外 —
オフィスの施工 社内 同上	オフィスの施工 社外 鹿島建設(株)	建物の施工 社内 —	建物の施工 社外 —